

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第10回）議事概要

日 時 令和5年（2023年）2月8日（水）14：00～15：45

場 所 宝塚市立中央公民館 ホール

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長代行	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	前川原 修一会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	押条 雅英代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	村井 照幸副会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	安達 みづほ代表	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	三島 基道会長	●	
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

<その他>

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他
 上下水道局 福永上下水道事業管理者
 上下水道局 総務課 松永課長
 上下水道局 経営企画課 榎本課長、川西係長
 宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏
 宝塚市社会福祉協議会 前菌課長
 傍聴者 1名

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第9回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。

2 上下水道局の広報誌特別号（第2号）の発行（上下水道局）

上下水道局より、配布資料に基づき説明があったのち、以下の通り、質疑応答があった。

ア 現在抱えている企業債（借金）の金利に加え、今後設備の耐震化をするとすると、より費用がかかってくると思う。値上げについては、反対していないが、市民に説明するとすれば、合理化とコストの部分を洗いざらいに説明する必要があると思う。

小林、亀井の浄水場が閉鎖されたが、売却するということは検討しなかったのか。設備を解体するとなれば（売却）時価以上の費用がかかるため、戦略的に誤った判断をしたのではないか。値上げは仕方がないが、市民に正直に洗いざらい話すことが大切であると思う。

審議会を傍聴したが、淡々としたセレモニーのようなものだった。料金を2割ほど上げないと今の状況を脱出できないと思う。ここまで大変だから協力してほしいといういい方をするのがいいと思う。

イ（上下水道局）上水も下水も同じ事業として行っている。今回は上水の話をしているが、下水も問題がある。次回の審議会では下水の経営について議論することになる。借り入れについては、近年、借金の返済の峠は越え、今後減少が見込まれる状況ではある。

おっしゃる通り、経営の大変な部分を洗いざらい説明することは大切であると考えており、広報誌で分かりやすく説明しようと思っている。

小林と亀井について、設備の撤去費用を算出すると、土地の売却価格を大幅に上回ることが明らかになっている。単に土地を売るだけでは収益は得られない状態であるが、何らかの形で少しでも利益を残して処分できるような道筋を立てようとしている。

そもそもそういった状況に至った市のやり方は間違っていたのではないかとというご指摘について、確かにそういったご意見はあると思う。なぜ浄水場を廃止したかについては、老朽化による浄水場の更新費と将来の維持費をコスト比較した結果である。ただ、残念ながら浄水場は非常に売りにくい土地であるため、高額で売却できず、ご指摘をいただいている状態である。

ウ 小林、亀井及び他の浄水場は今後どうなっていくか。

エ（上下水道局）7つある浄水場を2つにするということで、小浜浄水場と惣川浄水場については、廃止する考え方は現時点ではない。ただ、その2つの浄水場については、現在、県や阪神水道企業団からも水をもらっているため、どこにど

れくらい依存していけば最も効率的かを検討している。その結果どうなるかはまだ分からない。

小林、亀井の浄水場については、地域の方の関心が非常に高いことは分かっている。まちづくりの観点からも考えて、お話しできる時期がくれば、お話しする。

オ コストや経営に対しての考え方は少し理解できた。災害に対して、どういう配慮をしているかを次回にでもまとめて提示してほしい。

カ (上下水道局) 承知した。

3 地域ごとのまちづくり計画

(1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会の推進シート、宝塚市高司小学校区まちづくり協議会、宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があったのち、意見交換が行われた。

ア 【未成】道路関係、小林浄水場、亀井浄水場の跡地の関係、無電柱化の関係、小林駅周辺の利便性の関係、都市計画道路の関係等について推進シートを提出した。今回、推進シートを提出した目的は、記録を残すこと、未着手を無くすことであり、優先順位を付けて、来年度以降に対話していければと思っている。

イ 【高司】補足等なし。

ウ 【ひばり】花屋敷グラウンドの横にある旧伊藤忠の寮の取り壊し、再利用について、話がうまくいっていなかった。何らかの方法で解決できればと思っているが、一朝一夕では解決せず、現時点でも行き詰まっている状況である。

エ 【未成】特定開発事業について、まちづくり協議会へ情報が入ってこない。開発まちづくり条例で、500平米以上の開発は地域に対して説明するとなっているが、自治会にしか説明がされていない。令和3年施行の協働のまちづくり推進条例でまちづくり協議会が明記されたにもかかわらず、平成17年施行の開発まちづくり条例では、まちづくり協議会が記載されていないままである。特定開発事業については、まちづくり協議会も関心を持ち、意見を出さなければいけないと考えている。行政は意識して、特定開発が行われる場合は、近隣のまちづくり協議会へも連絡をするように(指導)することが必要かと思う。

オ 宝塚ホテルの跡地について、5年ほど前からまちづくり協議会と市で話をして阪急に対する要望を行ったが、結果的にうまくいかなかった。その後、阪急と色々とやりとりをしたが、結局、公開空地の利用の仕方しか話に出なかった。

現在、区域内で広域の開発にかかっているが、土砂災害警戒区域であることもありまちづくり協議会と地元自治会で交渉しており、申請したものに対し

て業者は一度見直しを行うことになっている。

案件については、推進シートは提出せず、市各部とダイレクトにやりとりをすることにしている。

小学校の規模に関しても、まちづくり協議会で教育環境適正化検討委員会を立ち上げたが、機会があれば各まちづくり協議会の区域内の各学校について、統合を含めて規模を見直す必要があると思う。

市の上位層に真剣にやってほしいが、反応が鈍かった。なぜボランティアでそこまでしなければいけないのかと思う。

カ まちづくり協議会と自治会との関係が地域によって分かれていると思う。本まち協内は自治会によって、自治会連合会、ネットワーク会議、無所属に分かれており、自治会長会議が長年できていなかったが、まち協で声を掛け、ようやくできるようになってきた。まちづくり協議会で自治会がまとまってきたが、自治連かネットワークに入っていないと市の自治会補助金が3割カットとなるため、なぜ差別されるのかを市に交渉しているところである。一部のまち協は特別にもらっている。全体として団結しにくくなっており、まち協、自治連、ネットワークの在り方について、もう少し一定の考え方、方向を出していかなければいけないと思う。

キ 自治会長は自治会長同士の連携がある。市から開発業者に対して、まち協、自治会関係なく、連絡をするように指導するべきだと思う。まち協に連絡してもらえれば自治会に情報を伝える。業者が近隣だけ話して終わるケースがあるため、まち協としても地域の特定開発事業についてどうなっているか押さえておく必要があると思っている。

ク まち協として仕組みができていけばそういうことはないでしょうと言いたかった。

ケ 促進委員として、協働のまちづくり推進条例の策定に関わった。推進条例を作ることはできたが、紐づけする行為が抜けている。まずはそこを行政としてしっかりとやっていかないといけないと思う。

コ (市) 協働のまちづくり推進条例が施行され、第6次総合計画に反映させたり、対話と進捗管理の仕組みを組み立てたり、一定進んできている部分はあると思う。しかし、おっしゃる通り、市の施策すべてに紐づけられているかと言われると漏れているところがあると思う。条例等によって(地域ごとの)まちづくり計画が総合計画であると言える下地はできたため、今回推進シートの提出もあったとおり、そういったツールを活用しながら一つ一つ進めて行ければと思っている。市民協働推進課で気づいていない部分については、ご協力いただきながら進めていきたい。

サ まず、開発指導課には即繋がなければいけないと思う。

シ 小学校の適正規模の問題については、市で早急に手を打ってもらわないといけないと思う。

ス (市) ご意見でいただいたものとして、大きく特定開発事業の件、小学校の

規模適正化の件、まちづくり協議会と自治会の関係の件の3つほど論点があったと思う。特定開発事業の件は推進シートによって対話をしながら、小学校規模の適正化の件は引き続き適正化検討委員会で対話をしながら、自治会との関係については、2、3月頃に実施の自治会アンケートで実態把握したうえで、課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えている。

(2) (再周知) 令和4年度地域ごとのまちづくり計画進捗確認の実施

市民協働推進課より、「令和4年度進捗確認シート」の提出依頼(令和5年3月末まで)について、再周知があった。また、進捗状況については総会で報告を行うよう、改めて依頼があった。

4 まちづくり協議会補助金の運用の改正

市民協働推進課より、配布資料に基づき、標記の件について、会計担当者会後の修正も踏まえた概要の説明があったのち、以下の通り質疑応答等が行われた。

ア 領収書・レシート等の添付省略の部分の改正は、うちのまち協では、かえって負担が増えてしまう。

イ (市) 従来通りの運用でも問題ない。

ウ 会計の負担は大きく、会計のなり手がないうちで、誰でもできる会計にしていかなければいけない。性悪説によるやり方は相応しいとは思っておらず、もっと信頼してほしい。また、システムを統一化すれば効率的に運営ができると思う。

エ (市) 会計担当者会でも会計事務の負担感が多く、担い手がいないという声をいただき把握している。性悪説に立って行うべきではないという声もいただいた一方で、現在のやり方を継続するべきであるという声もいただいた。市として、まちづくり協議会の会計を決して疑っているわけではなく、信頼している。ただ、公金を市として本当に使っているか確認をするという部分については、さまざまな意見があると思う。今回、負担が大きいかとお声のあった領収書の添付の部分の改正したが、今後も皆様からご意見をいただきながらより改善していきたいと考えている。令和4年度については本日ご提案した案でいかせていただき、またご意見をお聞きしたい。

オ 会計が大変という話はあるが、当コミュニティは会計を部ごとに行っており、会計はまとめて合算している状態でそれほど大変という感じはしない。会費の徴収について、自治会は銀行振込にしているところがあるが、どのやり方が一番効率的か市として情報を集めてもらえないか。お互いが(会計事務の)ノウハウを学べる仕組みがあればいいと思う。

カ (市) 会計事務のやり方はまち協によってかなり差があると思う。色々なやり方を知っていただいて、良いところを取り入れていただくきっかけとなることも期待して会計担当者会を実施した。事前アンケートとして会計事務に関する各種質問を行った結果をまとめたものを提供済みのため、お時間があ

るときに見ていただきたい。市としても会計担当者の負担が大きい部分があるというのを把握しているため、会計担当者会も定期的を開催し、少しでも負担軽減を図っていきたいと思っている。

キ 自治会費の集め方について、当まち協は団地の住民はマンション管理費とともに天引き、それ以外の住民は1年分をまとめて振込みをしている。レシートは帳簿がしっかりしていればいずれは確認すら不要となるのか。

ク (市) 現時点では領収書を確認しないというのは、市としてまだ決断できない状態である。検討し続けていくことであると考えている。

5 ポータルサイト改修 (代表者交流会関連資料ページ) (宝塚NPOセンター)

宝塚NPOセンターより、標記の件について、新たにページを追加する旨、説明があった。

6 市民協働推進課からのお知らせ

(1) 令和4年度地域活動きずな研修にかかるアンケート

市民協働推進課より、標記の件について、きずな研修生受け入れのお礼、アンケートの提出依頼 (3月24日㍻) があった。

(2) (再周知) まちづくり協議会補助金 (第4号: デジタル化促進事業) の実績報告

市民協働推進課より、12月9日付で案内があった標記の実績報告の提出依頼 (2月末㍻) について、再周知があった。

7 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下(1)~(2)について、周知があった。

(1) インターネットセキュリティ講座のご案内

(2) 労働者協同組合講座のご案内

8 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下(1)~(2)について、周知があった。

(1) 【2次募集】令和5年度「すみれの花基金事業」助成団体第2次募集について

(2) 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 備品貸出しについて

9 その他

なし。

10 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、次回開催予定について周知があった。

以 上